

本会議における 代表質疑・議案質疑

今定例会では延べ34名の議員が質疑を行いました。採決の際、討論を行った議案には「**討論あり**」と表示し、その内容は9ページに掲載しました。

代表質疑

市政方針・教育行政方針について

初雁自由政令会 | 公明党 | 川越志政会 | 日本共産党
政策フォーラム | 川越未来の会

問 今後の市政運営を進める上でのビジョンは。

答 市民や事業者と連携・協力しながら、第五次川越市総合計画の将来都市像に掲げる「ずっと安心、もっと幸せ、魅力あふれるまち 川越」の実現を目指し、各施策を一步一步着実に進めていきたい。

問 ICTを活用した教育が進む中でこどもたちの心の教育をどのように考えるのか。

答 人との関わり方を含めた道徳的な見方や考え方はICT活用だけではできない教育であり、教育活動全体を通して真の心を育む教育を実施していく。

問 市長が公約に掲げていた給食費無償化以外の施策は、新年度予算にどう反映させたのか。

答 本市の財政状況を勘案し、養育費確保支援事業、特別養護老人ホーム大規模修繕補助、農業用機械修繕費補助、客引き行為等防止パトロール、高齢者運転免許自主返納支援補助など優先度が高い事業の予算化を図った。



客引き行為等防止合同パトロールの様子

問 平和教育にどう取り組むのか。

答 児童生徒が歴史をしっかりと学び、戦争体験者等から貴重な経験や教訓を聞くなどして、平和について主体的に考え、自身の生き方につなげられるように取り組む。

問 6年間で約200億円減少してきた市債が、森田市長就任後の2年で27億円増となる見込みだが、市長の認識は。

答 さまざまな施設で時代に合わせた機能を持たせながら長期にわたり使用していくため、公共施設の長寿命化や集約化・複合化、防災・減災に向けた都市インフラの強化などを進めたことによるものと捉えている。

問 本市の財政状況の改善に向けた市長の考えは。

答 持続可能な財政運営を行うため、令和8年1月に策定

した第二次行財政改革推進計画に基づき、引き続き歳入歳出両面からの行財政改革の取り組みを推進していく。

問 今後の小中学校給食費無償化の質と量の確保のレベル感について、市長はどのように考えているのか。

答 給食の質と量については、栄養摂取基準を満たし、バラエティーに富み、メニューを工夫した給食を提供するとともに本市の特色である行事食の提供も安定的に実施している。できる限り化学調味料や食品添加物を使った食材の使用を控え、健康に配慮した給食ともなっている。今後は、さらにこどもたちに喜んでもらえる給食の提供に努めていきたい。

問 第五次川越市総合計画の8分野と、市長が市政方針で掲げた5つの柱の関係性は。

答 どちらもまちづくりの考え方を示したもので、5つの柱に内包される施策や事業は、第五次川越市総合計画の前期基本計画の施策や施策の方向性に含まれる。

問 今回の教育行政方針に関連した、第四次川越市教育振興基本計画における新たな取り組みは。

答 市立中学校の部活動の地域連携・地域展開と、市立小中学校の児童生徒が使用する学習者用コンピュータ全台の更新などによるデジタル環境の整備である。

問 産業振興への取り組みとは具体的に何か。

答 本市の特性を生かし、産官学金の連携強化、中小企業の経営基盤強化や生産性向上、商店街のにぎわいづくり、企業誘致や創業支援の充実、ニーズに応じた就労支援や多彩な人材が活躍できる労働環境づくり、持続可能な農業振興、魅力ある観光地づくりを推進していく。

問 何割の保護者から給食費無償化の要望があったのか。

答 本市として、給食費無償化の要望について調査した実績はないが、給食費無償化に関する陳情・要望の声は届いている。

議案第1号

専決処分の承認を求めることについて

川越志政会

問 今回の衆議院議員総選挙等に係る予算総額は。

答 専決処分に係る一般会計補正予算（第6号）と予備費を充当し、予算総額は1億262万6千円となった。

問 選挙執行経費の内訳は。

答 人件費、ポスター掲示場の作成・設置・撤去費、入場